

天神川流域整備(蛍の郷)チーム活動履歴

2020. 6. 3

平成 22 年度 (2010 年)	◎パーククラブ設立 (8月 20日)
平成 23 年度 (2011 年)	
平成 24 年度 (2012 年)	★水生生物調査 (6月) ?
平成 25 年度 (2013 年)	★水生生物調査 (7月) ? ★天神川調査 (8月) ?
平成 26 年度 (2014 年)	◎泉佐野丘陵緑地公園開園 (8月) ☆天神川までの除草 (1月、2月)
平成 27 年度 (2015 年)	☆天神川への園路整備 ☆ホテルの観察会 (5月) ☆竹製バリケードの制作 (コラボ区域)
平成 28 年度 (2016 年)	☆蛍の保全研修会 (府大・平井先生) (4月) ☆調査道防護柵設置 (5月完了) ☆蛍の成虫 (個体数確認) 調査 (5月~6月 計4回) ☆天神川水生生物調査 (モツゴ・メス) (10/12) ☆休憩小屋の製作(11月~1月) ☆蛍の幼虫調査 (平井先生、天神川周辺・竹の丘) (11/30・12/3) ☆大門松製作 (パークセンター・公園中央入口設置用) (12/20・21) ☆蛍のビオトープ作り (1月開始~)
平成 29 年度 (2017 年)	☆蛍の成虫 (個体数確認) 調査 (5/19~6/16) ☆蛍のビオトープ作り (8月完了) ☆台風 5 号 (8/9) 倒木処理作業 ☆台風 21 号 (10/22) 溢水に伴う損壊場所の復旧作業 (10月) ☆「ゲンジ蛍の郷」(6地区) の整備 (10月~) ☆ホテル橋架橋工事 (「蛍の郷広場」=「ゲンジ蛍の郷」) (11月~1月) ☆ヒメ蛍の幼虫調査 (蛍の郷周辺・ ?) (11/29・12/6) ☆パークセンター用大門松制作 (12/25~27) ☆蛍の調査道 (天神川沿い) 新設作業 (2月~)

<p>平成 30 年度 (2018 年)</p>	<p>☆蛍の調査道(天神川沿い)新設作業(5月完了) ☆「蛍の観賞会」イベント開催(5/26) ☆蛍の成虫(個体数確認)調査(5/11~6/14) ☆天神川の生物調査(8/22) ☆「ゲンジ蛍の郷」の整備(10月完了) ☆台風21号(9/4)による倒木・損壊復旧(9~10月) ☆秋の郷遊び「天神川のせせらぎ観賞会」実施(11/3) ☆公園入口用大門松制作(12月) ☆蛍のビオトープ水漏れ止水工事(11~12月) ☆水路からの洪水防止用ブロック積及び川の護岸石積工事(1~2月) ☆物置小屋設置工事(2~3月) ☆ヒメ蛍の幼虫調査(3/6・3/20) ☆草木染試作(3月・タマネギ染)</p>
<p>平成 31 年度 令和元年 (2019 年)</p>	<p>☆草木染活動試作開始 (4月・紅梅染、6月・ヨモギ染、ヤマモモ実染、8月アカメカシワ染) ☆蛍の成虫(個体数確認)調査(5/10~6/6) ☆「蛍の観賞会」イベント開催(5/25) ☆天神川の水生生物調査スキルアップ講座(府立大・平井先生)(9/12) ☆ヒメ蛍の調査道新設(10~11月) ☆パークセンター前用大門松制作(12月) ☆天神川から市道間の整地 ☆ヒメ蛍の幼虫調査(3月)</p>
<p>令和 2 年度 (2020 年)</p>	<p>☆蛍の成虫(個体数)調査(5/29・6/5) ☆草木染活動 (6月・ヤマモモ染、7月・藍の叩き染め染、11月マリーゴールド染、 3月・ツバキの花染) ☆草木染イベント開催(草木染でオリジナルハンカチを作ろう) 10名参加 ☆市道側フェンス沿いの竹伐採(フェンス更新の為)及び不法投棄物清掃 ☆ヒメホタルの幼虫調査(3/17捕獲カプセル設置、3/24カプセル回収及び 捕獲数確認) 【備考】○新型コロナ感染拡大に伴い「ホタルの観賞会イベント」及び 大門松製作は中止</p>

<p>令和3年度 (2021年)</p>	<p>☆見どころ掲示板 (4月、7月、10月、1月)</p> <p>☆草木染活動 (4月・藍の種まき、5月・チューリップ球根取入れ、 7月・藍生葉の叩き染、8月・藍染、ヒメジョオン染、 11月・マリーゴールド染、2月・南天染)</p> <p>☆蛍の成虫 (個体数) 調査 (5/26、6/2、6/11)</p> <p>☆蛍の調査場所及び調査道案内 (順路) 標識設置</p> <p>☆NHKサイエンスゼロ (淡竹の120年に一度の開花) BD 観賞 (8/18)</p> <p>☆大雨による調査道・水路・天神川の増水被害状況見分 (8/18)</p> <p>☆イノシシ除けオオカミの尿 (商品名・ウルフピー) 設置</p> <p>☆淡竹枯れに伴い枯れ竹伐採</p> <p>☆パークセンター前用大門松製作 (12/15、12/21、12/22)</p> <p>☆蛍のビオトープにアンペラ (水生植物) 移植</p> <p>☆ヒメホタルの幼虫調査 (3/16 捕獲カプセル設置、3/23 カプセル回収及び捕獲数確認・平井教授指導)</p> <p>☆ヤマザクラ調査?</p> <p>【備考】○新型コロナ感染拡大に伴い「ホタルの観賞会」イベント中止</p>
<p>令和4年度 (2022年)</p>	<p>☆草木染活動 (4月・梅チップでハンカチ・バックを染める)</p> <p>☆蛍の調査道柵更新</p>

天神川流域整備(蛍の郷チーム)

3年間のチーム方針

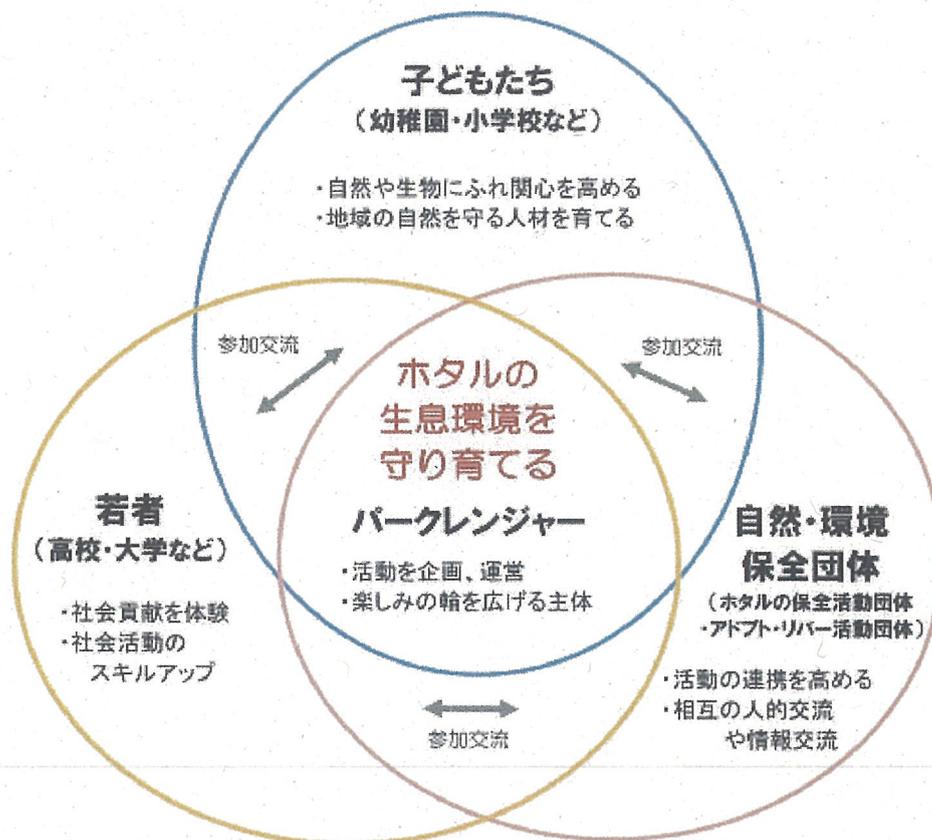
この資料を基にして、蛍の保全活動、及び調査、研究を行っていく方針です。

谷口池西側区域でのホタル保全活動の検討

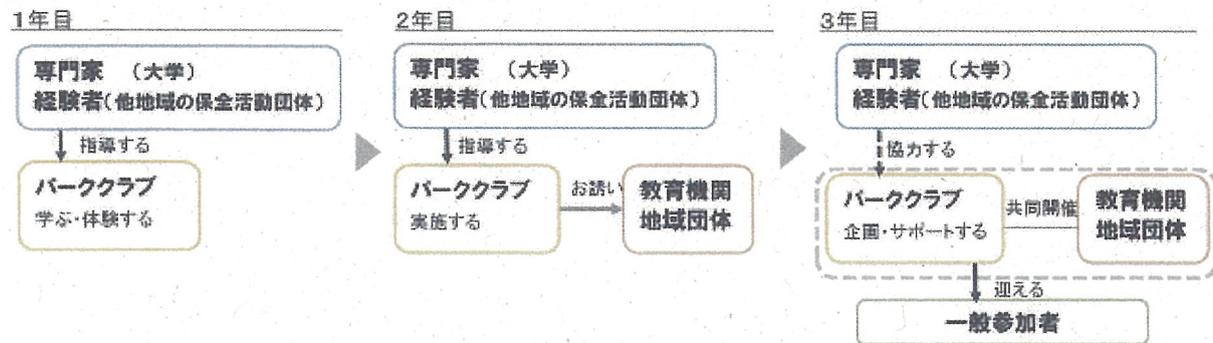
■プログラム作成の基本方針

- 楽しさややりがいを体験できる
- 地域への広がりを促す
- 3年間で継続可能な調査方法と仕組みを確立する

パークレンジャーが活動の要となりながら、地域で学び生活する世代を超えたさまざまな人たちが、故郷の自然を守り育てる活動を、共に協力しながら、継続的に実施できるプログラム活動を展開します。



■想定する3年間の活動による参加者の広がりについて



- 1年目は、パーククラブが学び体験する期間です。大学等の研究機関や他地域の保全活動団体に学びながら活動します。
- 2年目は、パーククラブが、調査や保全活動等のプログラムを試行的に実施する期間です。例えばホタルの成虫の調査には小学校など教育機関と、清掃などの環境保全には地域のアドプト・リバー・プログラム参加団体などをお誘いして実施するというように、活動のパートナーを探し取組みます。
- 3年目は、パーククラブが主体的にプログラムを企画運営する期間です。前年、協同した団体との活動を継続し、共同開催を目指します。また、一般参加者を迎えての調査活動などを展開します。

■ホタルを知る：基礎的な活動プログラム

プログラム	ねらい
ホタルの種類と数、生息場所を調べる ホタルの発光の違いと発光数から成虫の種類と数、生息範囲を把握する。	毎年実施し、鑑賞を楽しみながら活動の効果把握する。
幼虫が暮らす環境を調べる 水温や日照状況など幼虫の生息環境を調査します。今後保全を考える上での基礎資料となる、天神川の環境断面を作成します。	初年度に実施し、生息環境の現状を把握し、改善の必要性等を検討する基礎情報とする。
ホタルのエサを調べる カワニナやモノアラガイ、オカチョウガイなどホタルのエサとなる巻貝を川底や竹林の地面などの中から探し、生息数を把握します。	

■活動を継続し広げる：継続・交流・波及のプログラム

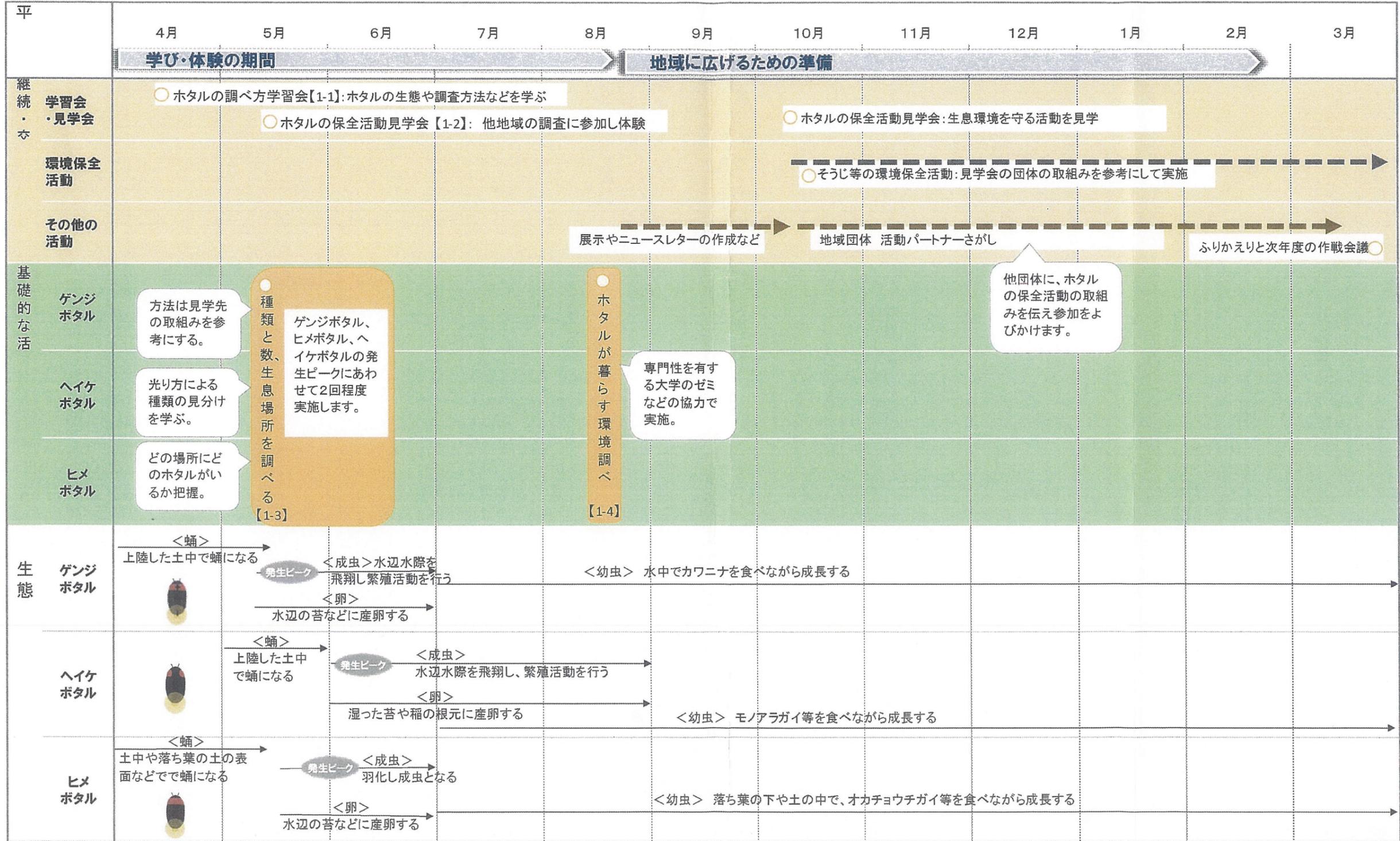
- 必要に応じて、「ホタルの調べ方学習会」や、「事例見学会」を開催し学びの場をつくりまます。
- 幼虫の成育環境を整えるため「そうじ等保全活動」を定期的に行います。
- 地域団体や教育機関などに参加をよびかけホタル保全活動への参加が有益性につながるような団体を探します。「地域団体 活動へのお誘い」を行い、参加の輪を広げ、体制強化に繋がります。
- 年度末に「ふりかえりと次年度の作戦会議」を行い今後の方針を考えます。
- 3年目に「ホタル発表会」を開催し、取組みへの参加者同士の交流の場を設けます。
- 関西近郊で開催されている「ヒメボタルサミット」へ適宜に参加し、他地域に学び交流します。

学びの1年

- 1) 専門家や経験者の皆さんからの指導の下、ホタルの生態や調査、保全活動の方法を学びます。
- 2) ホタルの種類と発光の違いなどを学びます。その上で谷口池西側区域での生息の有無をパーククラブの皆さんの目で確認します。
- 3) ホタルの保全活動の基礎となる調査を実施し体験します。

- 凡例**
- 専門家や経験者の指導の下、パークレンジャーが中心になり実施
 - 専門家や経験者の指導の下、他団体などからの参加者も交えてパークレンジャーが実施
 - パークレンジャーが企画運営し、他団体や一般の参加者を迎えて実施(専門家や経験者はサポート)
 - パークレンジャーと他団体が共同で企画運営し実施

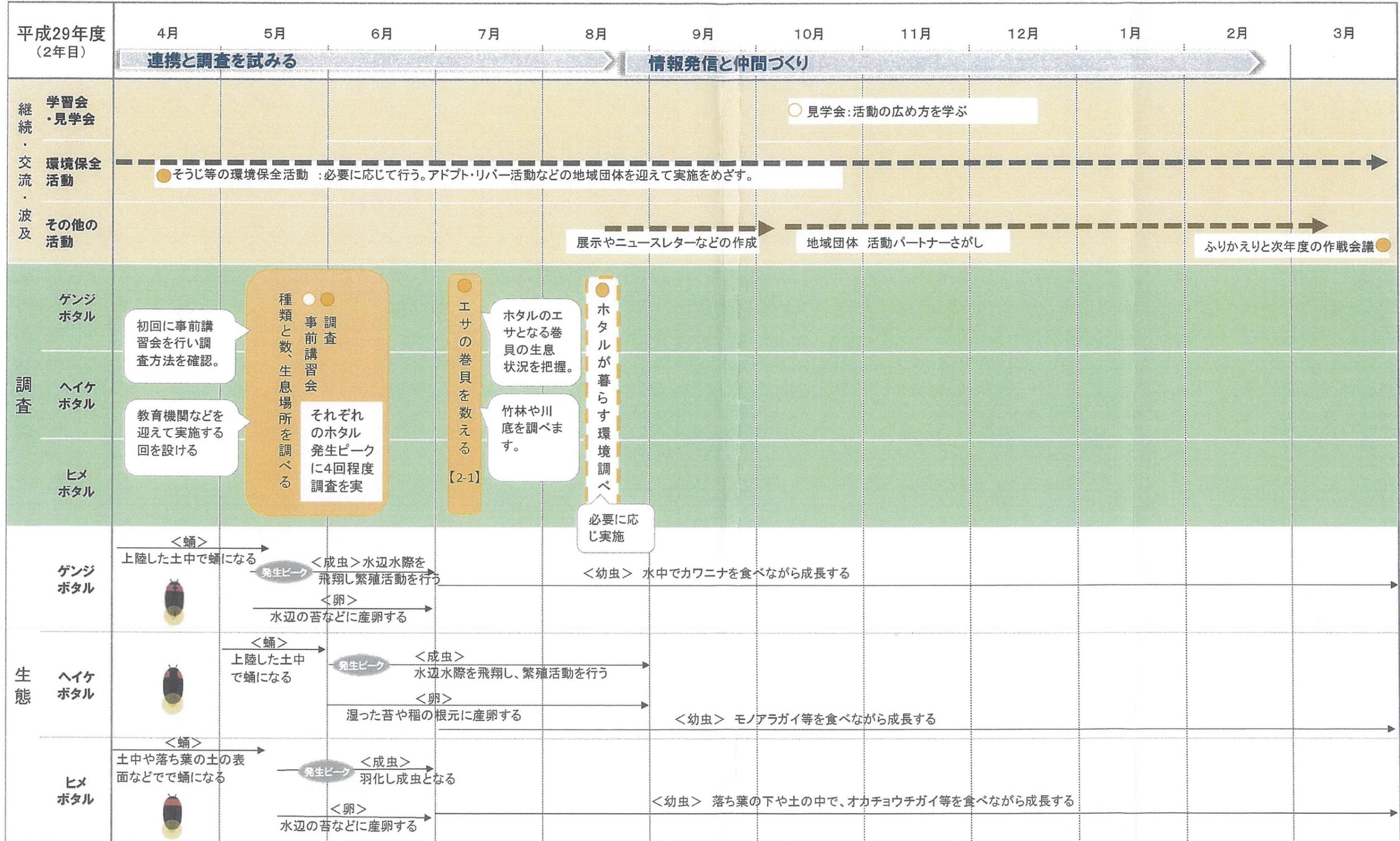
※【】内の数字は、別紙に掲載したプログラム試案の番号。



試行の1年

- 1) ホタルの見分け方や生態を習得します。他の人に説明できるようになることを目指します。
- 2) ホタルの光を楽しみながら、気軽に参加できる方法での成虫調査を模索します。
- 3) 教育団体や町会など地域団体とパートナーを組み、一緒に調査や保全活動を行う仲間を増やします。

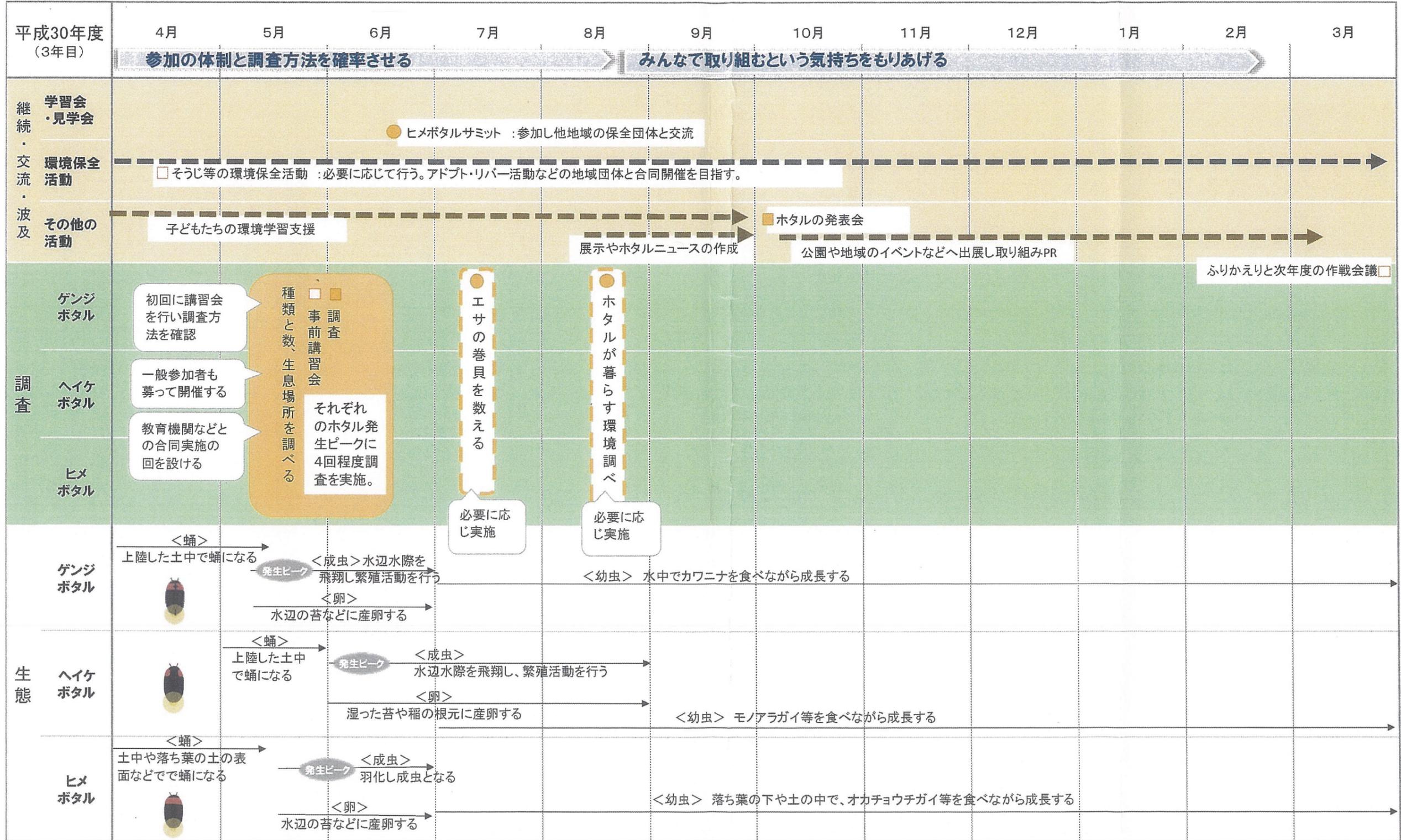
- 凡例**
- 専門家や経験者の指導の下、パークレンジャーが中心になり実施
 - 専門家や経験者の指導の下、他団体などからの参加者も交えてパークレンジャーが実施
 - パークレンジャーが企画運営し、他団体や一般の参加者を迎えて実施(専門家や経験者はサポート)
 - パークレンジャーと他団体が共同で企画運営し実施

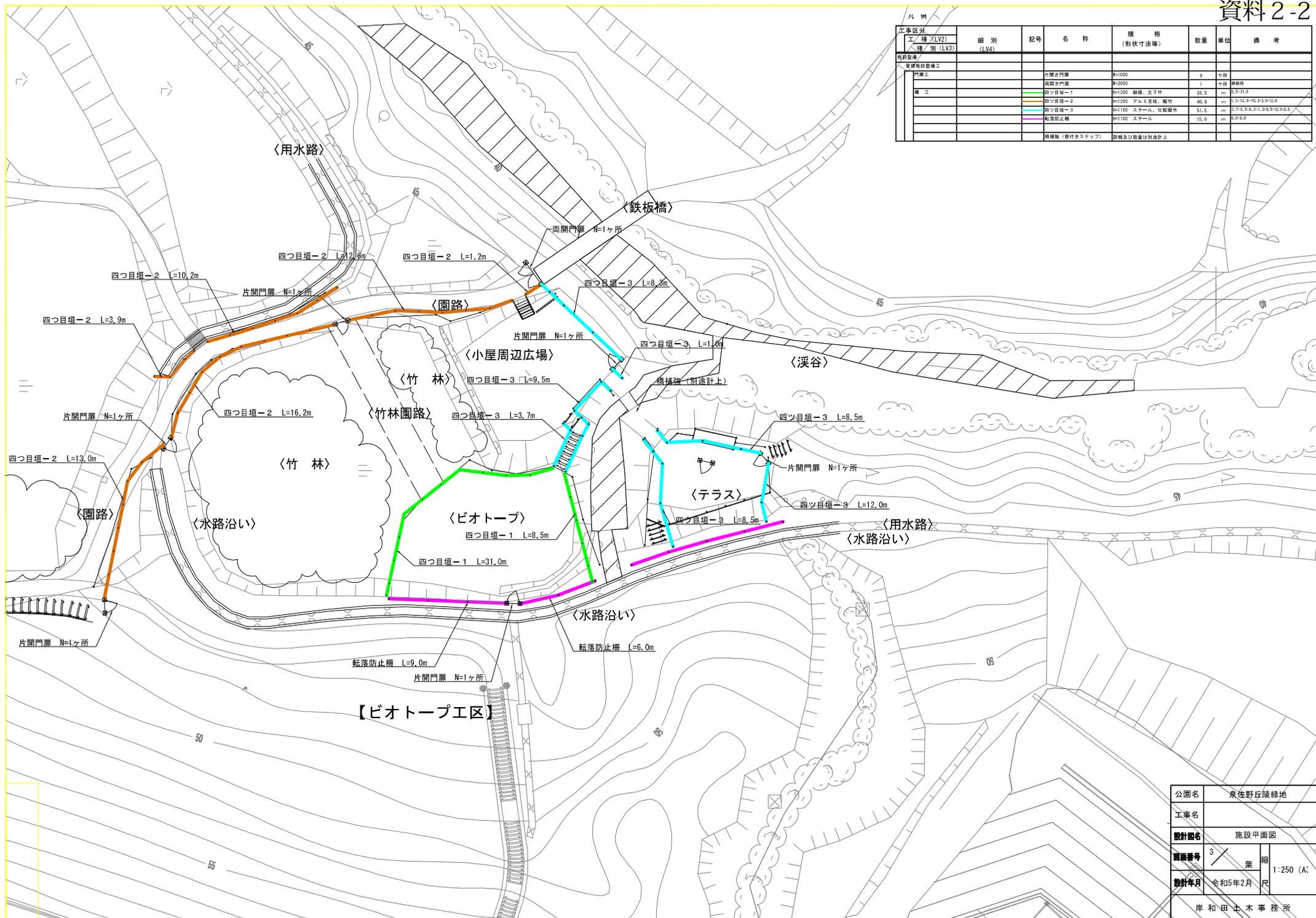


実践の1年

- 1) 一般の参加者を迎えての調査を企画運営し、実施することを目指します。
- 2) 地域でのホタルの保全活動に取り組もうとする気運が高まり、今後、継続可能な調査の方法や参加の体制がつくられます。
- 3) 協働での取り組みを継続するパートナー団体生まれます。

- 凡例**
- 専門家や経験者の指導の下、パークレンジャーが中心になり実施
 - 専門家や経験者の指導の下、他団体などからの参加者も交えてパークレンジャーが実施
 - パークレンジャーが企画運営し、他団体や一般の参加者を迎えて実施(専門家や経験者はサポート)
 - パークレンジャーと他団体が共同で企画運営し実施

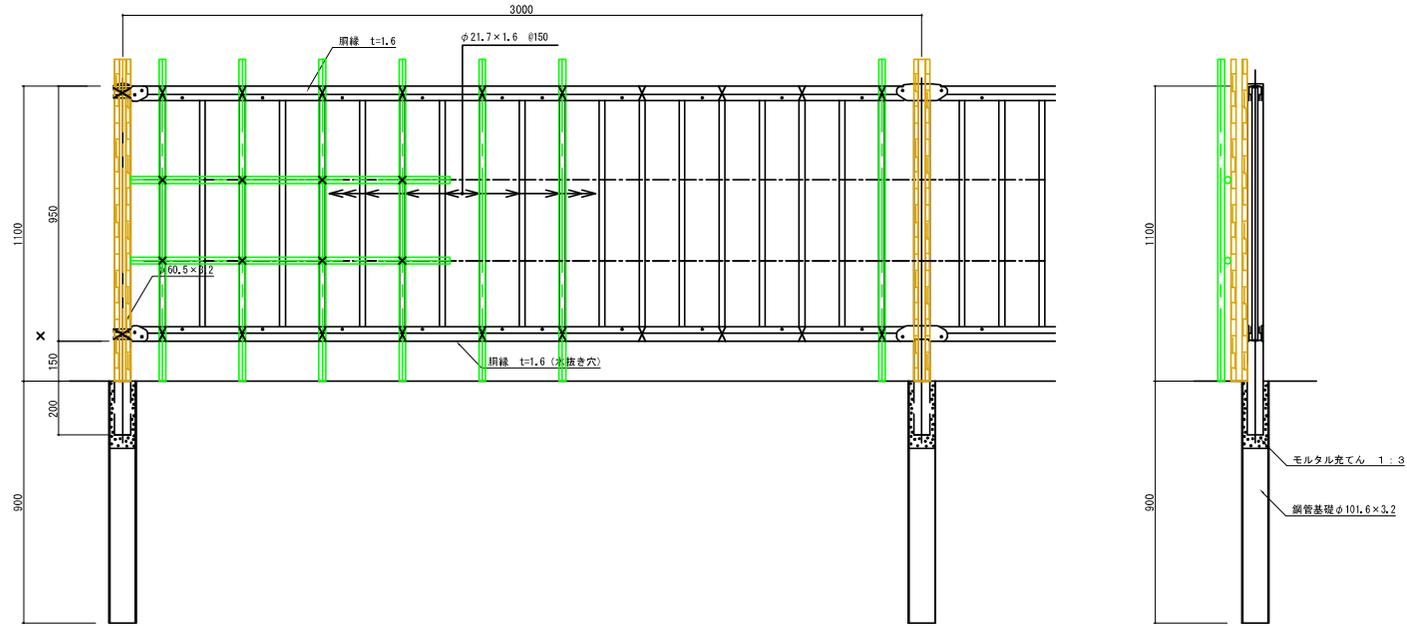




工事区分		細別	記号	名称	規格 (形状寸法等)	数量	単位	備考
工種 (LV2)	種別 (LV3)	(LV4)						
電気設備								
多連箱設置工事								
門扉上		片開き門扉	N=1000			6	ヶ所	
		両開き門扉	N=2000			1	ヶ所	鉄板橋
園工		四ツ目垣-1	N=1200	銅線、立子竹		39.5	m	5.5-31.0
		四ツ目垣-2	N=1200	アルミ支柱、縦竹		40.9	m	5.2-12.6-16.2-3.0-10.0
		四ツ目垣-3	N=1100	スチール、化粧鋼竹		51.5	m	5.7-7.4-8.1-11.9-6.8-10.6-8.3
		転落防止柵	N=1100	スチール		15.0	m	5.0-8.0
		橋補強 (別途計上)						
		橋補強 (家付きステップ)						詳細及び数量は別途計上

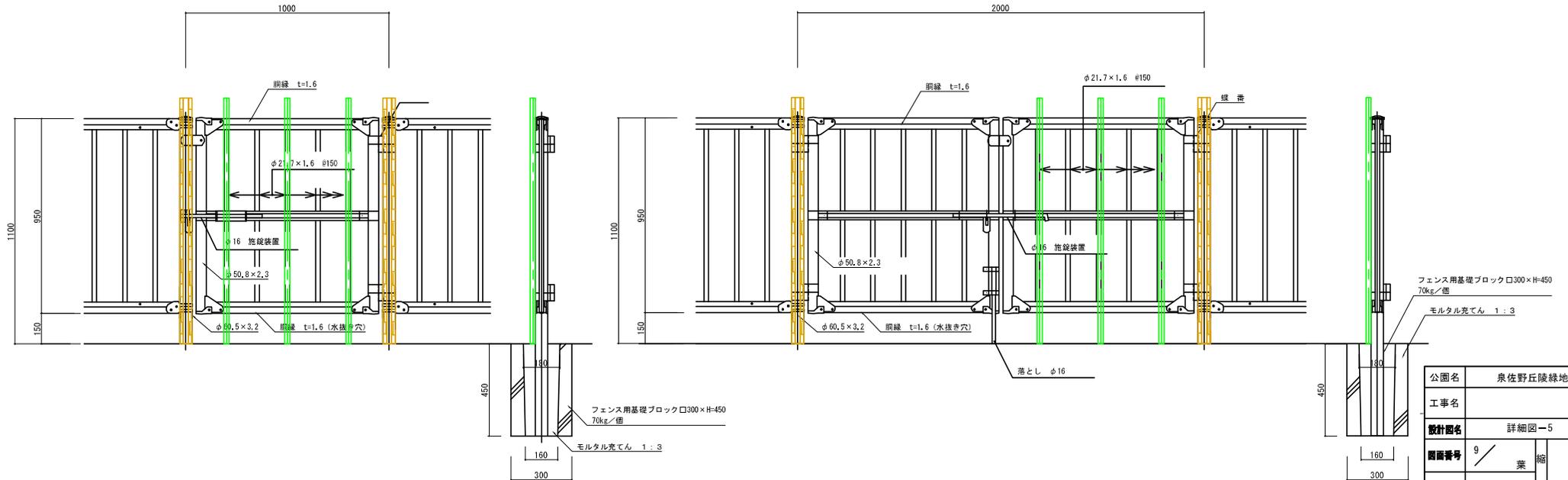
公園名	泉佐野丘陵緑地		
工事名			
設計図名	施設平面図		
図面番号	3	業	縮
設計年月	令和5年2月	尺	1:250 (A)
岸和田土木事務所			

新設詳細-3 / 3
四ツ目垣-3 (化粧あり)



片開き門扉 (化粧あり)

両開き門扉 (化粧あり)



防錆棒の設置基準 P種に基づく

公園名	泉佐野丘陵緑地		
工事名			
設計図名	詳細図-5		
図面番号	9	業	縮
設計年月	令和5年2月	尺	
岸和田土木事務所			